



超我の奉仕

本 庄

ロータリークラブ会報

NO 43-22 第2081回 例会 12月15日 2005年12月22日 発行
2005~2006年度国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 第2570地区ガバナー 野中弘之
会長/野村正行 会長エレクト/渋谷修身 副会長/武井包光 副会長/中村 孝 幹事/温井一英

本日の例会

卓 話
「アイバンク患者さんの報告」
地区社会奉仕副委員長・アイバンク担当
春 山 茂 之 様

進 行 SAA 藤井 仁 委員
点 鐘 午後 12 時 30 分 野村正行 会長
ソング 「それでこそロータリー」「ふるさと」
お客様 第 36 期青少年交換派遣候補生
中村 茜 様
埼玉県立本庄高等学校教頭
我妻光一郎 様
アイバンク患者 野口広久 様
杉田はつ代 様
春山眼科医院看護師
大野美由紀 様

会長の時間 野村正行 会長



今日の例会にお呼びしていますお客様をご紹介します。

第 36 期青少年交換派遣候補生中村 茜 様、埼玉県立本庄高校教頭我妻一郎さまです。アイバンクによって献眼を受けられ職場復帰されました野口広久さん、杉田はつ代さんでござい

ます。お二人には視力を回復出来ました体験談のお話をして下さることでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

又、春山眼科医院より看護師の大野美由紀さんもお出席されています。大野さんのお父さんは角膜提供されたとのことでご紹介いたします。

そして、春山茂之地区社会奉仕副委員長がお話をして下さることになっております。

2005 年も本日の例会と、次週のクリスマスパーティーを兼ねた例会で、本年も終わりになります。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕及び国際奉仕そしてSAAの協力により、多くの奉仕事業が行われました。ロータリアンの皆様のご協力に対し、改めて感謝申し上げます。

又、来春 1 月 12 日の新年会より後半が始まりますので、前半同様ロータリアンの皆様の奉仕活動への協力をお願い申し上げる次第です。

通知事項として

- ・ 15 日午後 6 時 30 分より第 4 回 IM 実行委員会が開催されます。議題として、組織、プログラム、予算等々について協議されます。

連絡事項として

- ・ 2005~06 年度国際奉仕部門「世界社会奉仕」の貴クラブの取り組み状況アンケート調査について参っております。
- ・ インターネット速報情報ですが、9 月 22 日例会にお伝えしました 2007~2008 年度の RI 会長ノミニーに問題が生じた為、再度 RI 会長指名委員会が開催され、カナダ・オンタリオ州トレントロータリークラブ会員のウィルフリッド J.ウィルキンソン氏が選出され、2006 年 1 月 1 日をもって正式に会長ノミニーとして指名されるということです。
- ・ 本庄市、上里町暴力排除推進協議会より役員会開催の通知が参っております。12 月 22 日午後 1 時本庄市役所職員厚生室、議題は本庄市上里町暴力排除推進協議会組織についてです。
- ・ 18 年 1 月 14 日(土)午後 6 時 30 分より、こだま青年会議所新年名刺交換会の案内が参っております。



- ・ 2005～06 年度国際奉仕部門「世界社会奉仕」の貴クラブの取り組み状況アンケート調査についてですが、皆さんに回覧いたしますのでご覧ください。
- ・ ロータリー財団国際親善奨学生募集のポスター掲示の依頼が届いております。
- ・ ロータリー財団学友会ニュースが届いております。
- ・ ザ・ロータリアン誌が届いております。
- ・ 18 年 1 月 22 日(日)午後 1 時 30 分より本庄市主催により「気づくこと。そして、変わること」と題し落語家の桂 七福の講演が本庄市民文化会館多目的ホールで開催され、参加費は無料です。
- ・ 第 259 号「ぼらんていあにゅーす」が届いています。

飯塚明男 国際奉仕委員長



第 36 期青少年交換派遣候補生として選ばれた本庄高校 1 年中村 茜さん、教頭の我妻先生をご紹介します。

ご挨拶

第 36 期青少年交換派遣候補生
埼玉県立本庄高等学校 1 年
中村 茜 様



この度はロータリー青少年交換プログラムの派遣候補生に選んで頂き、光栄に思っております。

私は、中学生の頃から外国の文化や言語に興味を持っていました。留学先では、沢山のひととコミュニケーションをとり、言語や文化を学んで来たいと思っています。又、日本の文化を現地のひと々に紹介してこようと考えています。その為に日本料理をしっかりと勉強し、料理を通して日本の国を良く理解してもらおうと考えております。

帰国後は、留学先で勉強してきた事を社会の中で役立てて行ける様、努力したいと考えています。

埼玉県立本庄高校

教頭 我妻光一郎 先生



この度はロータリーの皆様のご支援で海外青少年交換プログラムに合格させて頂き、有難うございます。

本人は英会話が優れており、中学 3 年で、英会話準 2 級を取得しており、興味、やる気、能力も高いと言うことです。

本庄高校としてもバックアップして参りますので、是非皆様にご支援頂きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

委員会報告

小此木昭二 新世代委員



皆様に FAX でお願いしてあります風揚げ大会を開催する件ですが、皆様からのご意見を是非お寄せ頂きたいと思います。

会長及び下山新世代委員長以下委員も頑張っておりますので、是非宜しくお願いいたします。

巴 高志 世界社会奉仕委員長



交換留学生の派遣カウンセラーを任命されました。12月3日第1回のセミナーがあり、出席しました。本年度派遣候補生は6名です。女性5名、男性1名です。来年8月まで、セミナーを受けその後留学先へ一年間行く予定であります。

書き損じ葉書の件ですが、12月9日自治会連合会の会議に出席し、皆様に書き損じ葉書の回収をお願いいたしました。

メンバーの皆さんからも回収させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

ニコニコボックス 五十嵐敦子 副委員長
(敬省略)



春山茂之

今日は2人の患者さんを連れてアイバンクのPRをやらせて頂きます。よろしく。

飯塚明男

青少年交換派遣候補生の中村 茜さん、吾妻教頭先生、ようこそいらっしゃいました。

石原 修

来週のクリスマス会宜しくお願いします。当日ビンゴカードの購入もお願いいたします。

加藤玄静

警察協議会に出席の為、早退いたします。

本日は春山茂之アイバンク委員会副委員長、アイバンク患者さんからの報告宜しくお願いいたします。

(同文にてご投入頂きました)

戸谷 丈	金子 弘	渋谷健司	内野昭八郎
中島高夫	笠原 勝	岩本英人	竹並栄一郎
田中 克	福島文江	古瀬末雄	佐藤賀則
橋本恒男	西村賢次	矢島淳一	五十嵐敦子
巴 高志	梅村孝雄	下山正男	渋谷修身
今泉憲治	岩淵富男	武井包光	石原輝弥
茂木 聡	野澤章夫	野村正行	塚越 茂
温井一英	高橋福八	中村 孝	

本日ニコニコ合計 40、000円

出席報告 茂木 聡 委員長



会 員 数	出 席 免 除 会 員 数	出 席 義 務 会 員 数	出 席 員 会 員 数	出 席 率
77 名	7 名	70 名	47 名	67,1%

メーカー数 0 枚

欠席届出者

井河久昇 岡崎正六 金井直樹 斉藤清一
坂本雄一 関根 貢 高柳育行 戸谷清一
沼田恵義 野口光大 町田国彦 三宅健吉
山田龍男

矢島淳一 プログラム委員長



本日はアイバンク委員会企画でアイバンク患者さんお二人のお話伺うことになりました。

又、看護師の大野さんのお父さんが献眼を提供されたとの事ですので、お話頂きたいと思います。

岡芹正美 アイバンク委員長



今日は貴重な時間を頂き、アイバンクの PR をさせていただきますので、宜しくお願いいたします。

お手元のドナー登録状況を見て頂きますと、当クラブは 114 名となっており、今年度半期を終わりますが、8 名の登録を頂いております。新入会員や未だご家族で登録されていない方はご協力をお願いいたします。

登録をされた方は自分だけでなくご家族に周知して頂ければと思います。

卓 話

地区社会奉仕副委員長・アイバンク担当 春山茂之 様



2570 地区全体で共通の社会奉仕事業としてアイバンク事業を取り入れ、前年度からアイバンク活動を支援しようとして行っており、昨年はロータリー 100 年を記念して「100 人に愛の光を」という事で、スタートしましたが、中々進まない事業であると感じました。

8 月 27 日にアイバンク支援委員会が開催され、2570 地区以外にも、2770 地区やライオンズクラブが一生懸命活動されている様です。

ロータリークラブとライオンズクラブの在り方について、過日加藤ガバナー補佐の言っておりますが、ロータリーは高度なサービスを行っていて、例えばポリオを無くそうや青少年交換事業、国際的な識字率向上、水の供給等です。

ライオンズクラブは最初からアイバンク事業に取り組んでおり、又、献血等一般の方に解り易く、地元に着した事業を行っております。

アイバンクの事業は、1 つに献眼の登録、PR、基金を集める事です。これを元にして、角膜移植用のドナーの斡旋事業が根本的です。

人間、情報の 80%は目から入ってきます。失明した場合、情報社会において、最も辛い事であると思います。

中国では昔から「目は魂の宿る所」と言われており、仏像を作った時に最後に目を入れる「開眼」で完成するのです。又、竜を書き最後に目を入れたところ、その竜が天に昇って行ったという事で物事の最後の仕上げになっていると言うことです。

角膜移植は 1906 年に初めて成功し、その後、法律的な問題や提供者が居ない等で、中々進んでおりません。

角膜は、唯一人間の目だけで人工では付かないのです。そして、角膜は亡くなってから十分生かせますし又、角膜は 200 年生き続けられますので、ご理解をして頂きたいと思っております。それでは移植された患者さんを紹介します。

野口広久 さん



私が角膜移植をしたのが平成5年です。お蔭様で現在の私が皆さんの前でお話出来るのが、本当にあり難い事です。

皆様のお陰で光を頂き、妻も昨年11月頃ドナー登録をしました。その後、今年の2月に妻は亡くなり、春山先生に応援して頂いて角膜の提供が出来ました。そして妻の百か日に私も手術を受けることになり、今日の15日が丁度10回目の月命日にあたりますが、線香をあげてロータリークラブへの訪問を話して参りました。葬式の時アイバンク協会と県知事の感謝状を頂き、その後、厚生大臣からの感謝状を頂きました。このような感謝状を受け、親戚の者もドナー登録をしました。

妻の角膜も現在どなたかの目で生き続けている訳ですから、目だけは灰になっていないで、人の役に立っているのです。誇りを持って今、生きています。

杉田はつ代 さん



小さい時から目が見えなかったのですが、アイバンクで先生に手術をして頂いてからはとても良く見える様になりました。1年前位からは外出も出来ずにいましたが、今日は自転車に乗って来ました。

アイバンク、春山先生には本当に感謝しています。有難うございました。

春山眼科医院看護師 大野美由紀 さん



2年程前に父の角膜を埼玉県アイバンク協会に提供させて頂きました。

父が亡くなりましたのは急でしたので、アイバンクの事は直ぐには思い出す事が出来ませんでした。以前に本庄市で行われたアイバンクの講演会での話しを思い出しました。

角膜は、人体の中で唯一200年の寿命がある事や、火葬されてしまえば灰となって消えてしまうだけですが、献眼出来れば、人生最後の最大の奉仕をする事が出来るという内容が強く心に残っていました。

急な父の死を無駄にしたいくないという思いから角膜を献眼する事を思い出しましたが、果たして本当に良かったのかどうかという迷いは心の何処かに常にありました。

そんな中、アイバンク協会の方から無事に二人の方に移植が出来たという具体的な連絡を頂いたり、厚生省と埼玉県アイバンク協会から二つの感謝状を届けて頂きました。

その後、父の弟にあたる叔父から「人の生き方には身分の高い低いや良し悪しはありません。彼の目がこの世にあるとは粋な計らいです。亡きお父さんの優しさを忘れずに幸せな家庭を築いてください」と言う手紙を貰いました。

その時に父の角膜をこの世に残せたと言う事は、本当に良かった事なのだと感じました。

何よりも父の角膜は、この世の何処かで、どなたかの新しい光となって生き続けています。そう思える事で心の励みになります。

角膜を献眼出来れば、移植を受けた方々だけでなく、残された遺族の方々にも喜びの明るい光を呼び寄せて貰えるものだと思っています。

広聴広報委員会 中島高夫・杉山淑子・岩本英人・笠原 勝・西村賢次

■例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 号
〒367-0041 本庄市駅南 2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>